

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	でまえ学び塾開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊 典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自分の意志に基づいて、自分に適した手段や方法を選び、生涯を通じて学習を行い、生きがいのある充実した人生を送れるようにする。						
事業の概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	29		29		30	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	利用者数	人	3,993	1,380	1,500	2,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者は大幅に減少したが、利用者においては希望する講座を受講することで充実した学びを得ることができた。また、講師を務める市民にとっては、自分の学んだ成果を活用する場になっており、生涯学習の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	齋藤恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	生涯学習推進計画に基づき、協働の観点に立ち自立できる地域リーダーの育成を図る。						
事業の概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	924		1,000		1,250	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	市民大学延べ参加者数	人	43	103	100	100
	成果	生涯学習振興大会来場者数	人	300	332	350	400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民大学は、オンラインを活用した学習に必要な基礎を学ぶための講座等を全5回開催した。生涯学習振興大会は、コロナ禍においても充実した生活を送るための秘訣を学ぶ内容を題材とした講演会を2月に実施し、生涯学習の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学社融合促進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	高瀬亮			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	小学校や中学校は、地域（市民全体）が支え地域（市民全体）と共に歩むという意識が醸成される。						
事業の概要	学校・家庭・地域が一体で子どもを育てるため、地域学校協働本部事業を推進する。ボランティアの協力を得て、教員が子どもと向き合う時間確保と地域教育力の向上等を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	162		162		222	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	事業開催回数	回	500	500	500	500
	成果	地域学校協働活動サポーター	人	150	400	400	400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新たな活動が始まった学校もあり、学校支援ボランティア活動の拡大及び充実が図られた。ボランティア登録者数（氏小・喜小）は、150名程度を維持。令和2年度からは、全ての小中学校で地域学校協働本部事業を実施し、サポーター数は400名程度になっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館運営事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	君島昌彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	施設の利便性を高め、多くの市民に生涯学習の場を提供する。						
事業の概要	開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：毎月第1、第3月曜日、第3日曜日、年末年始						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	27,466		170,274		26,593	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
		公民館年間のべ利用者数	人	58,399	9,982	10,000	70,000
		施設維持管理上の不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	築40年が経過し老朽化した設備の給排水等改修工事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館講座事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	君島昌彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自発的に学習するようになる。						
事業の概要	市民相互の仲間づくりを促進するために、公民館講座を企画し、氏家公民館と喜連川公民館の両館で実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	838		680		1,403	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	講座受講者数	人	2,670	840	3,000	3,000
	活動	講座実施後における自主グループ 設立数	団体	27	27	27	27
達成度の 評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を中止したため、受講者が減少した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川公民館運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	木村恭子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	利用者の生涯学習意欲の高揚を図る。						
事業の概要	開館時間：9:00～21:30 休館日：第2・第4月曜日、第3日曜日、年末年始 体制：職員1名・シルバー人材センター委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	17,155		14,173		15,185	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	利用者数	人	27,428	15,195	20,000	25,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により臨時休館期間を設けたことや、自ら利用を控えた市民がいたこと等により、利用者数の大幅な減少がみられたが、利用者からの特に大きな苦情等はなく、利用した市民の生涯学習意欲の高揚が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ゆめ! さくら博開催事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	齋藤恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	出店者が学習した成果を発表する場・還元する場、参加者が生涯学習に触れる場・体験できる場、市民同士のネットワークづくりの場として生涯学習の振興を図る。						
事業の概要	市民と行政の協働により実行委員会を組織し、10月（土・日）に氏家会場と喜連川会場（各体育館・公民館等）で開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,398		2,000		2,525	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	来場者数	人	7,138	1,066	0	3,000
	成果	出店者数	店（団体）	129	35	0	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大により規模を縮小しての開催となったことで来場者数、出店者数に大幅に減少したが、開催したことでコロナ禍においても生涯学習の振興を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	図書館管理事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	飯島菜里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民の読書や調査・研究等の生涯学習活動に活用される。 子どもの読書活動が活発化される。						
事業の概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	97,938		107,819		105,337	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	点	301,306	235,716	304,500	310,000
	成果	年間講座参加者数	人	3,820	745	4,500	4,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座があったため、年間講座参加者数が減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	青少年センター事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	齋藤恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年が様々な体験や交流を通して自分の良さを見つけることにより、青少年を健全に育成する。						
事業の概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年指導員、常任少年指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,453		2,798		4,175	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	青少年センター事業に参加した人数	人	975	504	600	700
	成果	少年育成サポーター数	人	32	32	27	27
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍においても少年指導員が体験活動班、ICT研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子ども会連合会育成事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	赤塚智衣			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	子ども会の活動が活発な事業を展開することで、市内の小中学生とその保護者が「体験活動」や「研修会」に参加する機会が提供される。						
事業の概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	359		359		359	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動日数	日	24	13	27	27
	成果	会員数	人	3,251	2,896	3,000	3,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	さくら市子ども会連合会において、ワクワク体験キャンプなどの事業を予定していたが、感染症拡大の影響で実施出来ず、代わりにくす玉づくり等の体験活動が行われ、子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ガールスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	渡邊典子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	108		108		108	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動日数	日	38	27	30	50
	成果	会員数	人	22	5	10	25
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響により活動が制約されたこと等から活動日数等は例年と比べ減少したが、感染対策を行い可能な範囲で青少年健全育成事業や地域活動等が行われた。活動に対し補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	飯島菜里			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	放課後の子どもの安全な居場所を提供し、地域の大人との交流を図る						
事業の概要	放課後に子どもの安心安全な居場所を設け、地域の協力を得て、スポーツ、文化活動、勉強等の交流を推進する。喜連川小（水曜日）、押上小（金曜日）で実施している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	237		178		332	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	ボランティア登録者数	人	46	30	70	70
	成果	申込児童数	人	40	31	60	60
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催回数は減少したが、押小っ子ふれあいスクールと喜小っ子ふれあいスクールにおいて放課後子ども教室が開催され、自由遊び・物づくり活動・交流活動を通して児童と地域住民との交流が推進された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ボーイスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	渡邊典子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9		9		9	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動日数	日	110	35	40	50
	成果	会員数		70	70	70	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動等が制限される状況であったが、ボーイスカウト塩谷連盟第8団において、奉仕の精神をもって青少年健全育成事業や地域活動等が行われ、補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら警察署管内少年指導員会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	渡邊典子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	さくら警察署管内少年指導員会活動を活発化する。						
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るための活動に対し、補助金による支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	88		88		88	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	活動日数	日	26	8	15	20
	成果	会員数		16	16	16	16
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響により活動に制約が課される状況であったが、さくら警察署管内少年指導員会において、可能な範囲で街頭補導や青少年健全育成活動が行われた。補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	リーダースクラブ事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	大柿鑑人			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年健全育成体制の強化				
事業の目的	高校生及び中学生が地域社会の一員としての自覚を高め、自己啓発や自己実現などの課題の達成をとおして、人間性豊かな青少年の育成を図ることを目的とする。						
事業の概要	子ども会活動への支援、市事業や各種団体事業への参加・協力、小学生との交流会の開催、各種研修会への参加を行い、将来地域で活躍する人材育成を図っている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	104		50		140	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	登録者数	人	44	55	70	70
	活動	活動日数	日	77	32	40	40
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	役員会を定例会と同日にしたこと、コロナ禍で支援依頼が減少したことから活動日数が減少した。会長を中心に会議や練習を行い、協力依頼にあわせて定期的・主体的に活動することができた。リーダース活動を通して、人間性豊かな青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	高瀬亮			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	03	家庭教育支援の充実				
事業の目的	子育てに対する不安がより解消され、家庭でいきいきとした子育てができる。						
事業の概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,008		401		1,543	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	家庭教育講座・講習の実施回数	回	31	10	30	30
	成果	家庭教育講座の参加者数	人	1,167	695	1,500	1,500
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアに家庭教育支援に関する研修へ参加してもらい、地域人材を育成した。家庭教育に関する各種講座を開催したり啓発物を発行したりすることで、家庭教育の推進が図られた。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、講座への参加は制限された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	齋藤恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	社会教育委員に社会教育に関する施策に対して意見・提言をいただく。社会教育指導員により、きめ細かい社会教育事業を行うことができるようになる。						
事業の概要	社会教育に関し諸計画を立案するため社会教育委員会議を開催する。社会教育指導員3名を配置する。社会教育委員、社会教育指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,405		6,149		6,789	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	社会教育委員会議出席者数	人	28	28	34	34
	成果	社会教育指導員による学級講座延べ参加者数	人	2,283	1,116	1,500	2,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	社会教育委員会議において、生涯学習課（公民館、図書館、ミュージアム）とスポーツ振興課の重点事業等について助言等をいただいた。社会教育指導員3名は、家庭教育・青少年教育・高齢者教育の3分野で各種講座等を担当し、社会教育の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	課外「さくらスクール」事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	高瀬亮			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	子ども達の「気力・体力・学力」を総合的に育むため、多くの学びの機会を設け、前向きに努力する意欲あふれる子ども達を育成する。						
事業の概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,487		2,544		3,820	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	申込児童・生徒数	人	183	551	400	500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		